

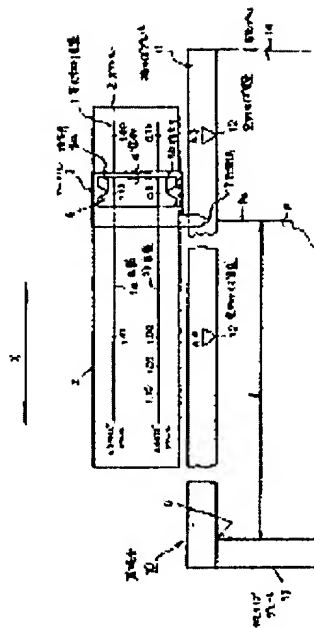
DEVICE FOR INDICATING ZOOMING MAGNIFICATION

Patent number: JP62112152
Publication date: 1987-05-23
Inventor: UMEZAWA KAZUMI
Applicant: CANON INC
Classification:
 - international: G03B27/62; G03B27/34; G03G15/04; G06F3/023
 - european:
Application number: JP19850252009 19851112
Priority number(s):

Abstract of JP62112152

PURPOSE: To easily detect converting magnification corresponding to the size of an original by providing a measuring piece to be adjusted with the end part of the original and an indication part for indicating a geometrical progression scale corresponding to the zooming magnification of the original size measured by the measuring piece.

CONSTITUTION: An original P to be varied at its magnification is set up on an original glass 14 of an original platen 10, and when the length of the original P from an original reference Q matching part to the end part Pa of the original P is 371mm e.g., a cursor 3 is slid along the scale 2 and the measuring piece 7 is made to coincide with the end part Pa of the original, an indication piece 5a indicates '1.13' of the upper scale 1a and an indication piece 5a indicates '0.8' of the lower scale 1b. To enlarge the original P up to size A3, the copy of size A3 can be obtained by indicating 113% zooming magnification by an input button or the like of a variable power operation part of a copying machine. On the other hand, the original P can be contracted down to size A4 by inputting 80% zooming magnification to the power variable operation part.



⑫ 公開特許公報(A)

昭62-112152

⑤Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	④公開	昭和62年(1987)5月23日
G 03 B 27/62		8106-2H		
27/34		8106-2H		
G 03 G 15/04	1 1 7			
G 06 F 3/023	3 4 0	Z-7218-5B	審査請求 未請求	発明の数 1 (全3頁)

⑭発明の名称 ズーム倍率指示装置

⑰特 願 昭60-252009

⑱出 願 昭60(1985)11月12日

⑲発 明 者 梅 沢 一 美 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑳出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

㉑代 理 人 弁理士 世良 和信

明 細 書

1. 発明の名称

ズーム倍率指示装置

2. 特許請求の範囲

原稿サイズに対応するズーム倍率を表示する等比数列目盛が表示されたスケールと、このスケールの長手方向に沿って摺動可能に取り付けられたカーソルとからなり、該カーソルは、原稿端部と合わされる計測片と、この計測片によって計測された原稿サイズのズーム倍率に対応する等比数列目盛を指示する指示部とを有していることを特徴とするズーム倍率指示装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、ズームレンズ等が用いられた連続変倍複写機に好適なズーム倍率指示装置に関する。

(従来技術)

従来この種のズーム倍率指示装置としては、その第1例として、複写機の操作盤上に配設され

た定形変換指示ボタンを操作することで、例えばA3サイズ原稿をA4サイズに定形縮小する定形変倍手段を用いたものや、第2例としてCCD素子等を用いて原稿のサイズを自動的に検知し、これによって得られたデータに基づき変倍率を行う自動変倍手段を用いたものが既に公知である。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら上記従来のズーム指示装置にあっては、第1例の定形変倍手段の場合には、連続変倍に限られることなく用いられる簡単で解りやすい手段である反面、定形サイズ紙以外には適用できないという問題を有し、また第2例の自動変倍手段にあっては、原稿サイズに適応する変換倍率が容易に得られる反面、コストが非常に嵩み、普及型複写機や汎用型複写機には採用し難い、という問題を有していた。

この発明は、かかる現状に鑑み創案されたものであって、その目的とするところは、構成が簡単で、しかも原稿サイズに対応する変換倍率を容易に知得することができる取扱いが至便で安価な

ズーム倍率指示装置を提供しようとするものである。

(問題点を解決するための手段)

上記目的を達成するためこの発明にあっては上
記ズーム倍率指示装置を、原稿サイズに対応する
ズーム倍率を表示する等比数列目盛が表示された
スケールと、このスケールの長手方向に沿って摺
動可能に取り付けられたカーソルとから構成し、
しかもこのカーソルは、原稿端部と合わされる計
測片と、この計測片によって計算された原稿サイ
ズのズーム倍率に対応する前記等比数列目盛を指
示する指示部とを有して構成したものである。

(实 施 例)

以下、添付図面に示す一実施例にもとづき、この発明を詳細に説明する。

この実施例に係るズーム倍率指示装置２は、原稿サイズに対応するズーム倍率を表示する等比数列目盛１が表示されたスケール２と、このスケール２の長手方向に沿って摺動可能に取り付けられたカーソル３とから構成されている。

の横サイズプレート 11 と縦サイズプレート 13 との連結部には原稿基準 Q が形成されている。

このように構成された原稿台 10 の原稿ガラス 14 上に変倍する原稿 P をセットする。そして、原稿 P の原稿基準 Q 衝合部から原稿端部 P a までの長さが 371 mm とすると、カーソル 3 をスケール 2 に沿って滑動させ計測片 7 と原稿端部 P a とを合致させた場合、指示片 5 a は上段の目盛 1 a の「1.13」を指示し、指示片 5 b は下段の目盛 1 b の「0.8」を指示する。従って、上記原稿 P を A3 サイズに拡大する場合には、複写機の変倍操作部（図示せず）の入力ボタン等で 113 % のズーム倍率を指示すれば、A3 サイズのコピーが得られる。一方上記原稿 P を A4 サイズに縮小する場合には上記変倍操作部に 80 % のズーム倍率を入力すればよい。

尚、上記実施例では、原稿PをAサイズに変倍する場合を例にとり説明したが、この発明にあってはこれに限定されず、例えばBサイズへの変倍

図示された等比数列目盛1は、原稿をA3サイズに拡大する場合の目盛1aと、A4サイズに縮小する場合の目盛1bとが原稿サイズに対応するよう上下2段に並設されている。

一方、カーソル 3 は、その表面側に窓部 4 が開設されており、該窓部 4 の上端部には前記目盛 1 a を指示する指示片 5 a が突設されていると共に、下端部には前記目盛 1 b を指示片 5 b が突設されており、上記窓部 4 と指示片 5 a、5 b とで指示部 6 が形成されている。また、上記カーソル 3 の左側下端部には原稿端部 P a に合わされる計測片 7 が延設されている。

以上のように構成されたズーム倍率指示装置 Z は、図示外の固定手段によって複写機の原因稿 10 の所定位置に、カーソル移動方向と原稿スキャン方向 X が合致する状態でセットされる。

原稿台 10 の横サイズプレート 11 には、定形
サイズ目盛 12 (図示の実施例では A 4 , A 3 印
のみが図示されているが、B 5 , B 4 等の印も一
般には表示されている。) が表示されており、こ

を指示するようズーム変倍指示装置を適宜変更して構成してもよく、勿論インチサイズ用に構成し、或いはA・B・インチサイズを組合せて構成することも可能である。また指示部6をレンズ体で構成してもよい。

(焼酎の効果)

この発明は、以上説明したように原稿を所望の定形倍率に変更しようとする場合、カーソルの計測片を原稿端部と合わせるだけで、原稿サイズに対応する定形サイズへの変換倍率が得られるように構成したので、その取扱いが極めて容易で、しかも構成簡易なので安価にズーム倍率指示装置を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明の一実施例に係るズーム倍率指示装置の使用状態を示す説明図である。

符 号 の 説 明

P … 原稿 P a … 原稿端部

Z ... ズーム倍率指示装置

1 … 等比数列目盛 2 … スケール

3 … カーソル

5 a , 5 b ... 指示片

6 … 指示部

7 ... 計 測 片

特許出願人 キヤノン株式会社

代理人 弁理士 世 良 和 信



第 1 図

